

増加の一途をたどる救助事案に対し大阪市消防局では、出場する消防隊の救助技術・知識の錬磨を日々行っています。また、セーフティーネット・レスキューの発隊により、住宅内事故に対する救助体制を強化し、早期の救出活動が可能となりました。今月は、平成29年度から、順次発隊させた「セーフティーネット・レスキューSTR隊」についてご紹介します！



●『セーフティーネット・レスキュー』とは

大阪市消防局では、年々増加する住宅内事故に対応するため、現行の救助隊29隊に加え、全114隊ある消火隊のうち住宅内事故にも対応できる「セーフティーネット・レスキュー」隊として指定し、平成29年10月から順次発隊し、現在は全12隊がその任務についています。

12隊の消火隊をセーフティーネット・レスキュー隊に指定したことにより、救助装備を積載した消防車両が早期に現場に到着し、早期の内部進入と内部確認が可能となり、室内で倒れている要救助者の救出が迅速化しました。

## 大阪市内の救助事案の現状

近年、全国的にも救助出場件数が増加傾向にあり、中でも最も多くの割合を占める住宅内事故の増加が著しく、平成25年にはこれまでの出場件数トップであった交通事故を抜き救助種別の1位となりました。大阪市内においても、救助件数は年100件のペースで増加しており、中でも住宅内事故への出場は平成10年に種別のトップになって以降、年々増加。平成31年(令和元年)には約2,500件(全体3,500件の約7割)となりました。これは、年間の出場件数が20年前の平成11年に比べて2,100件増加していることとなります。そして、このままのペースで救助件数が増え続けると、令和22年には6,000件近くまで増えることとなります。

